

団体情報

| | |
|-----------------------|--|
| 設 立 年 | 1981年(1999年法人格取得) |
| 所 在 地 | 東京都新宿区大京町31 慈母会館2・3階 |
| ミ ッ シ ョ ン | <p>「共に生き、共に学ぶ」平和な社会を</p> <p>【使命】人間の尊厳と多様性を尊び「共に生き、共に学ぶ」ことのできる平和(シャンティ)な社会を目指します。 【目指す姿】人々の考える力、創造する力を支え、共に社会や生活の問題を解決していくNGOとなります。</p> |
| 設立の経緯・事業に取り組むようになった背景 | <p>タイ国内のカンボジア難民キャンプでの教育文化支援活動を行うことを目的に、「曹洞宗ボランティア会」として1981年に設立。その後「シャンティ国際ボランティア会」となり、アジア7か国8地域における教育文化支援、緊急人道支援を行ってきた。</p> <p>2020年には多様化する日本国内の社会課題解決を図るため、外国ルーツの子ども支援を開始。事業地である東京都豊島区は多くの在留外国人を擁している。コロナ禍における彼らの窮状が指摘されており、在留外国人に対する緊急支援の機運が高まっていた。そこで、2021年5月、地域の連携団体とともに本事業を開始し、現在に至る。</p> |

団体の専門性・強み

【海外での実績】

- ・ネパール、ミャンマーといった本事業対象者の出身国において、支援事業を行ってきたことにより、外国人からの信頼を得やすい。
- ・アジア各国における事業運営経験の蓄積がある。

【国内での実績】

- ・1年間、対象地における事業実施により、ニーズ把握ができています。また、地域の団体とのネットワークが構築されている。
- ・全国各地に支援者ネットワークが広がっている。
- ・「絵本を届ける運動」など、市民参加型国際支援プログラムを有する。

活動を行う上での、自団体の悩み

- ・国内における外国人支援の実績がなく、専門性に乏しい。
- ・様々な団体と連携することで、それぞれの専門性を生かした支援が可能であるが、事務局機能以外の自団体の立ち位置が曖昧である。

| 事業内容 | |
|--------|---|
| 事業名 | 多セクター連携強化による在留外国人包括的緊急支援事業 |
| 対象者・地域 | 対象者:コロナ禍より困窮し、孤立する在留外国人 対象地域:東京都豊島区とその周辺 |
| 事業概要 | <p>昨年度から継続実施している事業であり、「食料配布・相談会から個別支援」の流れによるアウトリーチ型緊急支援を軸としたうえで、昨年度の成果を生かし、発展させた形での事業運営を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会、法律事務所に加え、厚労省、自治体、企業、地域の支援団体と連携し従来の包括支援体制を強化した上で、ニーズに応じた就労支援等のイベントを開催する。 ・これまでに育成された外国人コーディネーターをモデルとし、更なる外国人キーパーソンを育成することで、外国人コミュニティの自助力強化と波及を図る。 ・把握された課題から、弁護士による法的支援、行政と連携した就労支援により、不安定な在留資格の外国人に対する資格変更や就労を推進し、外国人の不安定な生活基盤の底上げを図る。 ・外国人に対する相談会、食料配布、個別支援等のアウトリーチ型緊急支援の継続実施、ヘルプデスクの開設により、コロナ禍において生活に困難を抱える外国人の支援へのアクセスの向上と課題解決を目指す。 |

| 目指すもの | |
|---------------------|---|
| 事業終了時のアウトプット(短期的目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・行政、企業を含めた多セクター連携による、地域の支援ネットワーク強化 ・外国人キーパーソン育成による、外国人による主体的な支援の開始 ・包括支援体制による、緊急支援の実施 |
| 中長期的アウトカム(中長期的目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・対象者の安定した生活基盤の構築 ・在留外国人が主体性を持った市民として活躍できる環境の構築 |

